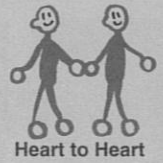


ともしび通信



Heart to Heart

第34号

2003年1月発行

コープともしびボランティア振興財団

〒658-0084 兵庫県神戸市東灘区甲南町2丁目1番20号(コープリビング甲南2階)

TEL078-412-3930 FAX078-412-3871

発行人=竹本 成徳 編集人=宮内 明彌

新しいボランティアグループが2カ所で誕生しました

「読み聞かせ・ストーリーテリング」講座

地域の中で本を読むこと、聴くことのすばらしさを伝えたくて

今年も10月1日(火)から5回シリーズで吉岡素子先生による「読み聞かせ・ストーリーテリング」講座を、西宮コープ福祉・ボランティアセンターとの共催で開催しました。

先生からは家庭文庫活動へのアドバイス、公立図書館の賢い利用方法や子どもたちへの読み聞かせにふさわしい本の紹介をしていただき、毎回実習を交え、教えていただきました。

この学習で弾みがつき、もっと学びながらボランティア活動も始めたいと新しいグループが誕生。この新しいグループは11

月から活動を始めています。

毎年大好評のこの講座は、今年度は姫路でも11月5日(水)から4回シリーズで開催。姫路コープ福祉・ボランティアセンターとの共催で、「大塩にこにこ子ども文庫」の伊藤恵美さんを講師に、姫路コープセンターで開催しました。受講後、さらに活動につながる学びを続けたいという参加者が多く、次のステップの学習への期待をふくらませながら好評のうちに終了しました。



ひょうごボランティアプラザと共催で、ボランティアコーディネーター研修を実施

ボランティア活動をすすめる上で、コーディネーターはキーパーソンと言えるほどの役割を担っています。コープともしびボランティア振興財団では、毎年さまざまなかたちでコーディネーターのみなさんのレベルアップをめざす研修を実施しています。今年度は、6月にオーブ

ンしたひょうごボランティアプラザと共催し、11月15日(金)から3回に渡って行いました。1回目の11月15日(金)は、コーディネーターの役割をテーマに、大阪ボランティア協会の海士美雪さんの基礎講座の後、都市部と郡部の社協およびコープこうべの3名のコーディネータ

「鎮守の森のボランティア」講座

木々の紅葉の下でボランティアグループ「あそびの縁日」開店

かつて鎮守の森やお寺の境内は子どもたちの安全な遊び場であり、大人たちのくつろぎの場であったように思います。都会の中の緑の空間を生かし、そこでの遊びを傳承していきたいの思いから、9月18日(水)から3回シリーズで講座を開きました。意欲的なシニアの男性が参加され、尼崎市の富松神社の境内で、草木を使った伝承遊びや竹の笛、ぶんぶんごま等、昔懐かしい遊びやクラフトの基礎を尼崎市緑の相談所の松井鴻先生から教えていただきました。

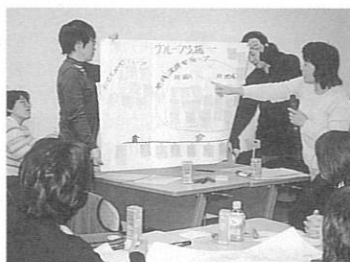
早速、10月14日(月)、「あそびの縁日」として富松神社の秋祭りでグループデビュー。さらに



受講生から生まれたグループ「あそびの縁日」早速尼崎市の富松神社で活動がスタート

11月10日(日)にはコープこうべ生活文化センターで開催された「子育てフェスタ」にも参加、ハッピー姿での「あそびの縁日」の店開きにはボランティアの手が回らないほど多くの親子が参加してくれました。

11月からは定例で「富松神社」の境内で活動しています。



1から課題発表。ディスカッションでは、同じ職種であっても、社協やコープといった組織の違いからくる課題の差を発見すると同時に悩みの共有もできました。

2回目は11月26日(火)、日本ボランティアコーディネーター協会運営委員の石井祐理子さんを講師に、ボランティアセンターの役割をテーマに開催。3回目は12月12日(木)、特定非営利活動法人コミュニティ・サポートセンター神戸の中村順子理事長を講師に「NPOから見たボランティアセンターの役割」についてポイントをついた講義とワークショップを行いました。